



きざき

令和5年2月8日

題字：寺尾 貞男 氏（笠山）

令和4年度 第7号

地域とともに歩む学校へ

教頭 菅原香代

校舎の大規模改修工事が終わり、ボランティア室を移転しました。玄関に近い、南向きの明るい部屋です。以前は畳の部屋だったところですが、畳も押し入れもすべて取り払い、広くてさわやかな部屋になりました。地域や保護者のみなさんが気軽に学校へ足を運び、この部屋で過ごしてほしいという願いを込めました。PTA活動の打合せなどにも利用していただけるとうれしいです。

また、このボランティア室前の廊下には「地域と学校パートナーシップ事業」の専用掲示板を設置しました。

「地域と学校パートナーシップ事業」とは、簡単に言うと、「学校が今まで以上に地域に開かれ、地域とともに歩む学校づくりを進める事業」のことです。吉田陽子地域教育コーディネーターが、たより「いきいき きざきっこ応援団」で、様子を伝えています。

新型コロナウイルスの感染防止のため、この3年間、活動が制限され、地域の方や諸団体の方が来校する機会はずいぶん減ってしまいました。しかし、限られた人間関係の中で生活する子どもが多い中、自分の家族や教職員以外の大人とかかわることは、社会性を育成する上でとても大切です。自分を認めてもらってうれしかったなど、自己肯定感にもつながっています。

地域の方とかかわる教育活動はさまざまです。先月だけでも、高学年の家庭科ミシン、3年生の地域の伝統行事「神楽舞」、1年生の昔の遊びなどで地域の方に来ていただきました。

「いろいろな活動で地域の方にお世話になっているんだ」「私たちの地域にはこんなすてきな人がいるんだ」と感じ、地域を愛する子どもを育てたいと考えています。保護者や地域のみなさんにも、「地域とともに歩む学校」を意識してもらえることを願っています。

木崎小学校では、感染症対策をしながら、学校と公民館や図書館などの社会教育施設、そして、地域の方、家庭、地域の諸団体や企業と、それぞれが役割を果たし、一体となって教育活動を進めていくこと（＝新潟市の「学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり」）を、一步一步進めていきます。

参考：今年スタートしたコミュニティスクール（学校運営協議会制度）との違いは？

自転車で例えると、学校運営協議会は、前輪（目指す方向を定め、コントロールする）で地域と学校パートナーシップ事業は、後輪（駆動力、機動力、持続力）です。

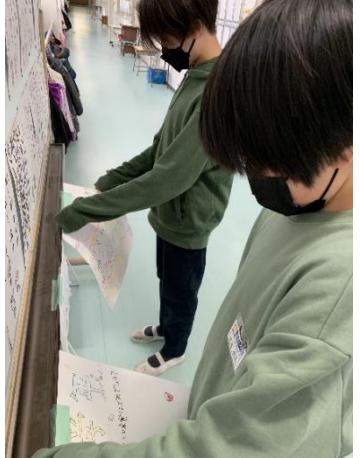
委員会活動の取組

児童会担当 佐々木 達弥

木崎小学校は8つの委員会があります。委員会活動では、高学年(5,6年生)が所属し、「木崎小学校のみんなが、もっと過ごしやすい、よりよい学校にするためにどんなことができるか」について取組内容を考え、活動しています。具体的には、「当番活動」と「イベント活動」の両方をどの委員会も行っています。一人一人仕事の当番を決め、継続して行う「日常活動」では、「全校のために役に立とう」という、よりよい学校作りへの子どもたちの主体的な参加意識や自己有用感を高めることを目指しています。「イベント活動」では、子どもたちは自分たちのアイディアで「学校をもっと楽しく過ごしやすい場所にする」ために、自主的に活動に取り組んでいます。

8つの委員会がどのような「当番活動」と「イベント活動」を行っているのかについて、ご紹介します。

企画委員会	<p>児童朝会や代表委員会の司会や運営など、学校全体にかかわることを主に任せています。全校が安全で過ごしやすい学校にすることを目指して活動をしています。当番活動では、毎朝マントを着て児童玄関や各教室を回って元気よくあいさつをしています。イベント活動では、赤い羽根共同募金や廊下を安全に歩行するように促す運動などを行っています。</p> 
体育委員会	<p>全校のみんなが運動を楽しく、安全にできるように活動しています。当番活動では毎日、体育館の窓の開け閉めをして換気をしています。イベント活動では、全校でクラス対抗リレーやフリースロー大会を企画・運営しています。全校が盛り上がるような楽しい雰囲気を作っています。</p>  
図書委員会	<p>当番活動では、休み時間、全校の本の貸し出しの確認など、図書館で仕事をしています。また、イベント活動の雪っこ読書旬間では、全校が楽しめる本好きになるように、図書スタンプラリーをしました。全校が本を楽しみながら読めるように工夫をしました。</p> 
給食委員会	<p>当番活動では、玄関の掲示板に給食の栄養が分かるように各食品群について掲示しています。イベント活動の給食週間では、各クラスの残量確認や校内の職員に向けて招待給食を企画しました。全校が楽しみながら給食を残さず食べることができるよう日々活動しています。</p> 

集会委員会	<p>全校に向けてクイズを作って児童玄関に掲示をして、全校のみんなが楽しいと思えるような当番活動をしています。また12月には、木崎祭り(スマイルフラーフェスティバル)の企画、運営をしました。全校を動かす大きな行事を集会委員会のみんなで力を合わせて大成功に導きました。</p>	
広報委員会	<p>毎週、全校の掲示板にポスターを貼つて新しい掲示板にすることが当番活動です。また、イベント活動ではオリジナルのぬり絵コンテストを開催しました。全校で作品を募集したので、体育館がぬり絵の作品でいっぱいになりました。</p>	
保健委員会	<p>当番活動では、水飲み場の石けんやトイレのトイレットペーパーの補充をしています。イベント活動では全校が健康でいられる呼び掛けテレビ放送や水飲み場に手洗いをして感染対策を促すポスターを掲示しています。</p>	
環境委員会	<p>当番活動は、花のプランターの水やりをして、冬は学校をキレイにする階段掃除をしています。イベント活動では、ペットボトルキャップを全校から集めて、世界の困っている人に向けてワクチンに変える運動をしました。段ボールが山積みになるほど集まりました。</p>	

今年も、コロナ禍で思うように活動できないこともあります。制限がある中でもみんなのためにできることを考え、アイディアを出し合い、全校みんなのために取り組む児童会活動での子どもたちの姿がとても素敵だと感じます。

なかよし弁当の日～6年目の取り組み～

給食主任 君 芳枝

今年度の「なかよし弁当の日」は、11月28日（月）に行われました。「弁当の日」は、食事を作ってくれる人に対して感謝の気持ちを持つこと、食に対する関心を深めることを目的とした行事です。



1年生から5年生は新潟調理師専門学校の吉田先生から、「ジュニアクッキング」という講座を開設していただきました。1, 2年生は、自分たちで育てたサツマイモ「しるきーも」を使った料理、3年生は、総合で育てた大豆を使ったお弁当おかずを作りました。4, 5年生は、包丁の使い方や調理を行うときのコツを教えていただきながら行いました。6年生は、医療福祉大学の学生から、お弁当の栄養バランスや詰め方を習いました。

子どもたちの感想からは、「お家の人と考えたり、

準備をしたりするのが楽しかった」「次は、もっと多くのことを自分でやりたい」という記述があり、料理を作る過程を楽しみにしている様子がうかがえました。また、学年があがると、賞味期限や産地を見ながら買い物をしたり友達の弁当を見て挑戦したりと一歩進んで取り組んでいることが分かりました。

家庭で一緒に取り組むことで、親子のコミュニケーションの場となり、食に関する意識が高まり、さらによくしていこうとする意識をもたせることができたと思います。保護者の皆様のご協力に心から感謝いたします。



輝いた木崎つ子

ジュニア展（絵画）

橋 順太	2年	優秀賞
小林 楓	2年	優秀賞
和田 寿乃	3年	奨励賞
川崎 音羽	5年	奨励賞

新大全国硬筆大会

川崎 菜央	6年	準特選
-------	----	-----

中越教育美術展（絵画）

眞壁 琉青	3年	金賞
伊東 栄哉	4年	金賞

新潟教育アート展（絵画）

肥田野 旭	1年	優秀賞
井澤 茉夕	1年	奨励賞
小林 希鳳	1年	奨励賞
青木 隆星	1年	奨励賞
加藤 美月	2年	奨励賞
築井 晴史	5年	奨励賞
平 龍大	5年	奨励賞

青少年読書感想文全国コンクール

高橋 吉輝	5年	優良賞
-------	----	-----